

組
番
氏名

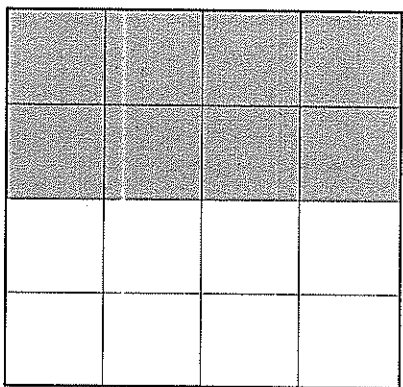
上下の関係もバランスが大切です。

普段から字の形を意識しておくことが良い

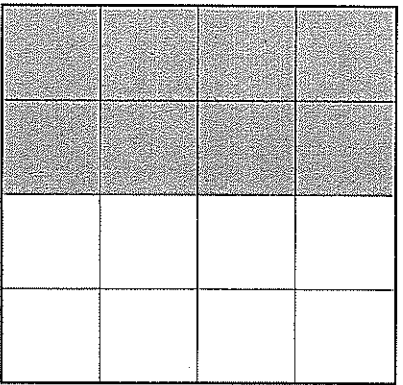
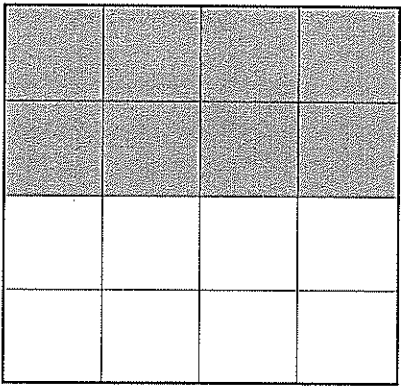
字を書くコツです。



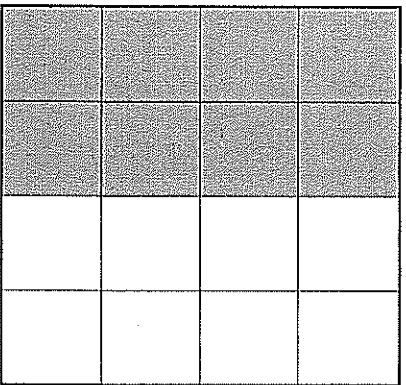
習^x



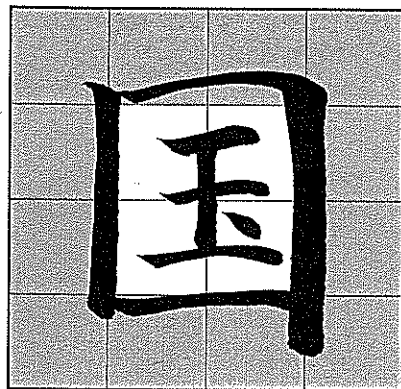
露^x



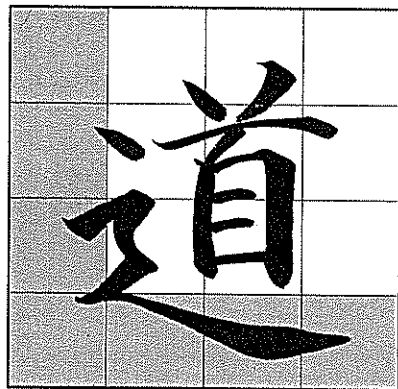
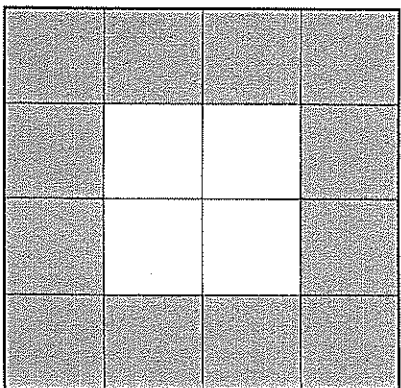
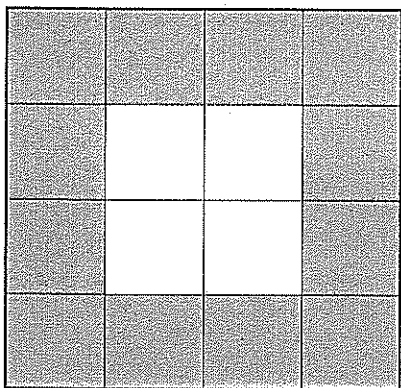
焦^x



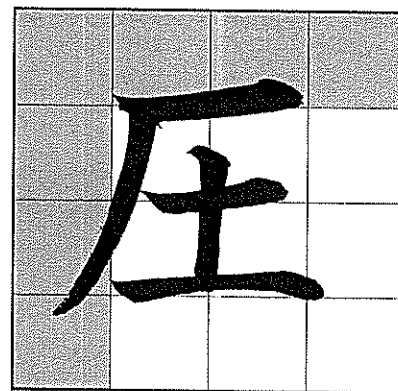
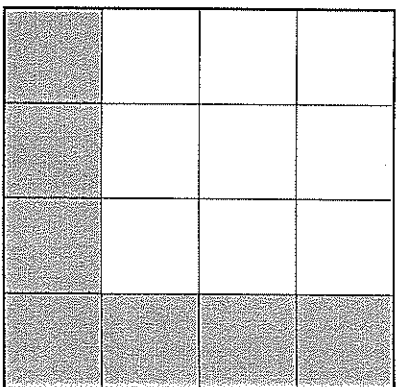
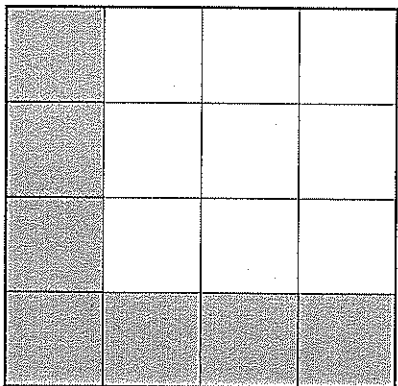
垂たれ・繞ひょう・構かまえの関係



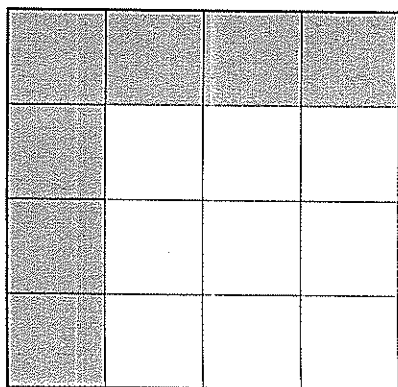
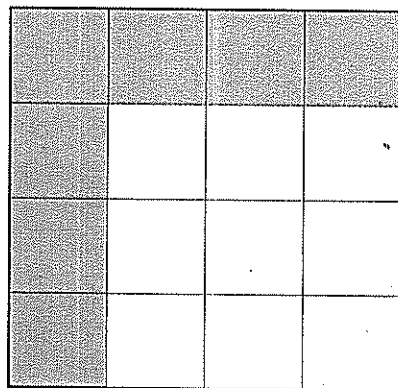
かまえは色々な形がありますが「国」のように全てを囲むときは下がすばまらないように気をつけましょう。



によは最後の払いがポイントになります。筆と鉛筆では少し感じが違いますが、払う方向に気をつけて書きましょう。



たれの場合、最初に書きますので中心を意識しましょう。払いは角度で印象が変わります。

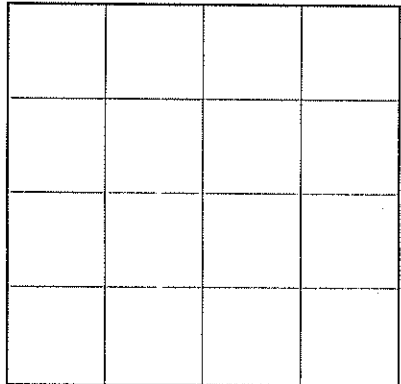
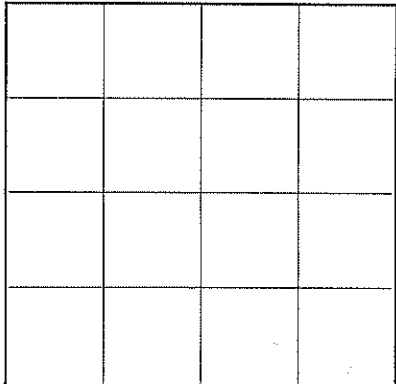
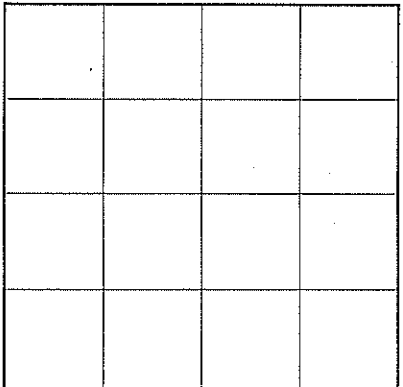
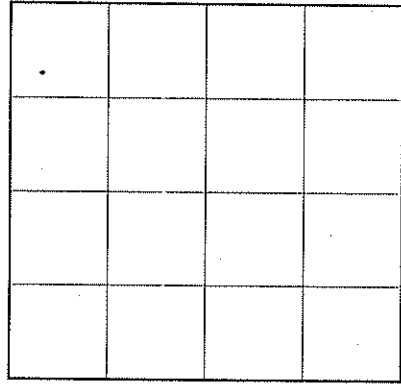
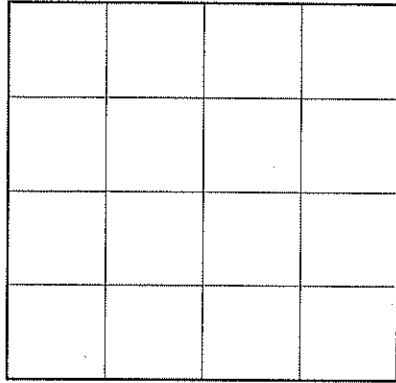
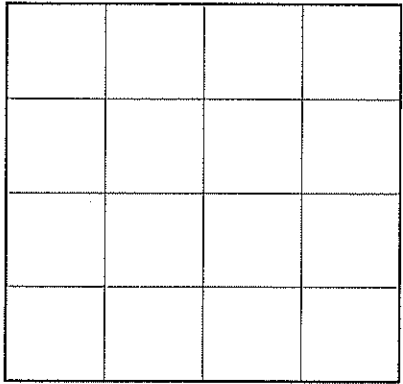
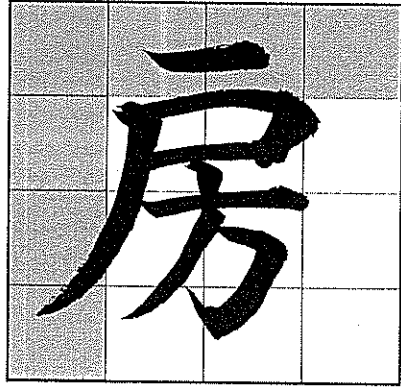
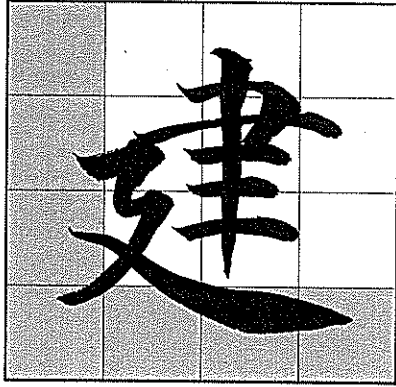
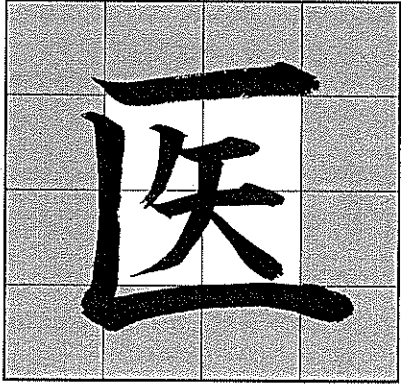


組

番

氏名

垂・繞・構の関係2



組

番

氏名

漢字仮名交じり文1

組 番

氏名

いろは歌

いろはにほへと
ちりぬるを
わかよたれそ
つねならむ
うゑのおくやま
けふこえて
あさきゆめみし
ゑひもせず

いろは歌は五十音が出来たもつと前に、当時の日本の仮名(ひらがな)47文字を全て1回ずつ使って作られた歌である。2段目は1段目のものに漢字と濁点を当てて作ったものである。

色はにほへど
散りぬるを
我が世たれぞ
常ならむ
有為の奥山
今日越えて
浅き夢見じ
酔ひもせず

色はにほへど
散りぬるを

我が世たれぞ

常ならむ

漢字仮名交じり文2

組

番

氏名

[Empty box for name entry]

いろは歌

いろはにほへと
 ちりぬるを
 わかよたれそ
 つねならむ
 うゐのおくやま
 けふこえて
 あさきゆめみし
 ゑひもせず

いろは歌は五十音が出るもっと前に、当時の日本の仮名(ひらがな)47文字を全て1回ずつ使って作られた歌である。2段目は1段目のものに漢字と濁点を当てて作ったものである。

色はにほへど
 散りぬるを
 我が世たれぞ
 常ならむ
 有為の奥山
 今日越えて
 浅き夢見じ
 酔ひもせず

有為の奥山

今日越えて

浅き夢見じ

酔ひもせず

作品を作ろう

硬筆・楷書

組番氏名

--

いろは歌

色はいろは

--

散りぬるを

--

我が世たれぞ

--

常ならむ

--

有為の奥山

--

今日越えて

--

浅き夢見じ

--

酔ひもせず

--

組

番

氏名

Blank box for student name

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
を	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

組 番 氏名

--

